

令和7年度 地域連携推進会議（障害者支援施設）議事録

日 時：令和7年7月28日（月） 15:00～16:30

場 所：太陽の里 交流ホーム

出席者：利用者…和泉雅之氏 利用者家族…安部広美氏 地域関係者…遠藤善夫氏
市町村担当…出雲市役所福祉推進課 青木満氏
矢野施設長 三島事業課長 森山サービス管理責任者

1. 開会の挨拶

矢野施設長より開会の挨拶があり、地域連携推進会議の趣旨と重要性について説明。

2. 参加者の紹介

出席者が自己紹介を行う。

3. 議題

① 利用者と地域との関係づくり

- ・ 太陽の里の活動内容、運営概要の説明を実施
- ・ 知的障害についての説明と知的障害者の特徴を説明
- ・ 近隣からの苦情について、車両に関する苦情等があったこと、相談日の実施について説明。

質疑応答①

利用者「（昔あった）いわなり商店に行きたいです」「その時にあいさつなどしていました」

地 域「昔は施設の近くに商店がいくつかあったが、撤退しています。移動販売が来たりできないでしょうか」「市の方も来ておられるので、そのような働きかけはできないでしょうか」

施 設「コロナ禍のときにマックスバリューの移動販売を利用していました。5類になってからは、ゆめタウンへ月に1回は買物に行けるようにしています」

家 族「施設は夜間に施錠はしていますか」

施 設「施設では内側から施錠していますが、防災の観点から、中からはすぐに開けられるようになっています。夜間は職員が巡回をして、人員確認をしています」

② 施設等やサービスの透明性・質の確保

- ・ スライドショーを使って利用者の日中の活動の様子（生産活動や運動、創作活動）を紹介した。また食事や休日の様子を紹介した

質疑応答②

地 域「食事は全体で何食くらい作っていますか。大変でしょう」

施 設「(稼働日の) 昼は 80 食くらいです。休日と朝、夕は入所利用者のみなので 30 食くらいです」

市町村「物価が高くなっています。食事の準備も大変ではないでしょうか」

施 設「施設で作っている野菜や米を卸して、それを食事に利用したりしています。また栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態にも気を配っています」

家族「GH のご飯はどうなっていますか」

施 設「GH も栄養士が献立を立てて、世話を人が食事の準備をしています。手作りで家庭的な雰囲気をモットーとしています」

③ 利用者の権利擁護

- 虐待防止委員会の年間計画の説明と研修などの取り組みを説明
- 車両や配薬のヒヤリハット、外出時に利用者が怪我をした事故報告を説明
- 職員の日勤、夜勤の体制や日中の利用者支援の内容などを説明

質疑応答③

利用者「自分は暇なときにはラジオを聴いています」

地域「プライバシーの保護は分かりますが、地域で仕事をしている利用者の名前しか分かりません。自分のことを話すタイプではない方から、どこまで本人のことを聞いていいか分かりません」

市町村「本人が自分で話す分なら問題ないと思います。自分から話さない人だと中々難しいですね」

市町村「施設は職員の数が足りないという話を聞きますが、入浴の同性介助はできているのでしょうか」

施 設「同性介助で行っています」

4. 施設見学

- 会議参加者に本館内の施設見学を実施

質疑応答④

利用者「(自分は) 加藤さんと 2 人部屋です。良い部屋です」

市町村「コロナ禍のときはショートの利用はできなくて大変だったのではないか。短期入所はこれから必要性が高まると思います」

家族「通所利用者の通勤に送迎車を使用しますが、車内での取り残しによる熱中症などが起きないように気を付けてほしいです」

地域「2 階がこの気温で暑くなっています。熱中症に気を付けて欲しいです」「建物もだいぶ古くなってきてます。新しく建て替えも必要になっていると感じました」

5. 閉会の挨拶

矢野施設長より、施設行事の案内、地域と連携を深めるため、引き続き協力をお願いしたいとの挨拶があり、閉会した。